

令和元年8月15日
石川県健民運動推進本部
(県民交流課内)
076-225-1365 高橋
(内線3816)

第29回(令和元年度)少年の主張石川中央地区大会の開催について

次のとおり、標記大会を開催します。

1 趣 旨

中学生が、日常生活での体験や考えを自分自身の言葉でまとめ、それを広く発表する機会を提供することにより、中学生世代における社会参加意識の醸成を図るとともに、多くの大人に現代の中学生への理解を深めてもらう。

2 主 催

石川県 石川県健民運動推進本部

3 日 時

令和元年8月17日(土) 午後1時30分から

4 会 場

西田幾多郎記念哲学館 地下1階 哲学ホール
かほく市内日角井1 電話：076-283-6600

5 発表者

別紙のとおり

(白山市、野々市市、かほく市、内灘町、津幡町に在住する中学生 17名)

発表順は、当日、抽選にて決定します。

6 表 彰

最優秀賞1名、優秀賞3名、奨励賞13名

*最優秀賞、優秀賞を受賞した4名は、8月31日(土)石川県青少年総合研修センターで行われる少年の主張石川県大会に出場予定

7 審査結果の記者発表

8月17日(土)石川中央地区大会終了後、報道各社あてにファクシミリによりお知らせいたします。

*当日は、どなたでも自由に入場できます。

発 表 者

※発表順は当日抽選で決定します。

| 発表順 | 中学校名 | 氏名 | 学年 | タイトル |
|-----|-------------------------------|----------------------------|----|--------------|
| | 白山市立 ^{かさま} 笠間中学校 | しまぐち ^{ほのか} 嶋口 穂乃佳 | 3 | 「仲間」とは |
| | 白山市立 ^{かさま} 笠間中学校 | にしかわ ^{まゆ} 西川 真由 | 2 | うわさが与えるもの |
| | 白山市立 ^{ほくせい} 北星中学校 | しおさき ^{あんな} 塩崎 杏奈 | 3 | 意見を伝えること |
| | 白山市立 ^{ほくせい} 北星中学校 | ひらき ^{ちさこ} 平木 千咲子 | 3 | 日本人らしい譲り合い |
| | 白山市立 ^{ひかりの} 光野中学校 | さいしよ ^{れん} 税所 蓮 | 3 | 戦争と対話 |
| | 白山市立 ^{ひかりの} 光野中学校 | たなか ^{こうた} 田中 滉大 | 3 | 「主張」することの大切さ |
| | 白山市立 ^{つるぎ} 鶴来中学校 | はやし ^{まさき} 林 雅樹 | 3 | 石川の伝統「方言」 |
| | 白山市立 ^{とりごえ} 鳥越中学校 | とうとう ^{しおね} 東藤 汐音 | 3 | 楽しむことの大切さ |
| | 野々市市立 ^{ののいち} 野々市中学校 | じんぼ ^{くるみ} 神保 来実 | 3 | 二度と起こさないように |
| | 野々市市立 ^{ふすい} 布水中学校 | なかぐち ^{しおり} 中口 詩織 | 3 | 境界線に気づく |
| | 野々市市立 ^{ふすい} 布水中学校 | もとや ^{こころ} 本谷 心彩 | 3 | 捉え方を変える |
| | かほく市立 ^{うのけ} 宇ノ気中学校 | もり ^{りこ} 森 璃子 | 3 | 声をかける勇氣 |
| | かほく市立 ^{うのけ} 宇ノ気中学校 | もりむら ^{なほ} 森村 菜穂 | 3 | 人間ができること |
| | かほく市立 ^{かほくだい} 河北台中学校 | こしの ^{あい} 越野 藍 | 3 | 自分の武器 |
| | かほく市立 ^{たかまつ} 高松中学校 | こうさか ^{はるな} 上坂 陽奈 | 3 | 命のバトンはあなたの手に |
| | 内灘町立 ^{うちなだ} 内灘中学校 | しまの ^{まい} 島野 舞 | 3 | 相手を見つめて |
| | 津幡町立 ^{つばたみなみ} 津幡南中学校 | やました ^{せいか} 山下 聖翔 | 2 | 大切な人 |